

全自動歪検査器

# IOTで遠隔監視

## ルケオが新サービス

ルケオ（東京都板橋区、吉村健太郎社長）は、全自動歪検査器の状態を遠隔監視するIoT（モノのインターネット）サービス「スマートメンテナンス」と、光学部品測定器や歪検査器など同社の検査設備で測定代行する「測定サービス」を始めた。同社は偏光板、波長板、光学機器などのメーカーで、関連機器販売に加えて付帯サービスを新たな経営の柱として育成する。

スマートメンテナンスに載した全自動歪検査器は内蔵センサーを搭載が対象。現在は新規販

売の機器を受け付け、その価格は、測定機器によるが基本料3万円、湿度、発光ダイオード（LED）輝度といった測定性能に影響する状態を常時監視する。検知した異常の通知や、半年ごとに定期点検証明書の発行、校正などを行う。サービスは内容により3グレードあり、価格は非公



歪検査器で測定代行するサービスも開始

測定サービスは希望者がサンプルを送ると、位相差測定装置やレーザー干渉計、分光光度計、歪検査器などでの測定を代行しレポートにする。消費税抜

な価格、測定機器の価格、測定機器によるが基本料3万円、湿度、発光ダイオード（LED）輝度といった測定性能に影響する状態を常時監視する。検知した異常の通知や、半年ごとに定期点検証明書の発行、校正などを行う。サービスは内容により3グレードあり、価格は非公

ルケオは新サービスにより事業の高付加価値化を進める。全自動歪検査器は測定者の判断不要で誤差が極めて少ない自動測定が可能。ただ、常時精密測定するため検査器を適正な状態に維持する必要がある。IoTサービスでサポートを強化するほか、同社の既存設備を活用した測定代行サービスを加え新たな経営の柱にする。